

3 1 川 港 整 第 4 1 号
令和元年8月14日

国土交通大臣 石井 啓一 様

提出者 川崎市長 福田 紀彦



社会資本総合整備計画の変更について

平成31年1月31日付け30川港整第56号で提出した、下記の社会資本総合整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

記

○提出する社会資本総合整備計画

- ・利用しやすく安全で憩いとうるおいのある港づくり（防災・安全）
(第5回変更)

コード：4646934087

案件番号：0000131241

(港湾局港湾経営部整備計画課 岩本担当)

電話 044(200)3061

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成29年03月17日

計画の名称	利用しやすく安全で憩いとうるおいのある港づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）											重点配分対象の該当	
交付対象	川崎市												
計画の目標	川崎港における物流機能及び防災・減災機能の維持・強化を図るために、以下のことを実施する。 ①既存の係留施設、外郭施設及び臨港交通施設等の改良等を行い、施設の延命化、利用者の利便性及び安全性の向上を図る。 ②大規模地震時において、市内陸部への緊急物資等輸送機能を確保するために、関連施設の改良を行い、耐震性の向上を図る。 ③津波・高潮時において、市民の生命と財産を守るために、海岸保全施設の改良を行う。 ④東扇島地区の岸壁を改良し、通常時ならびに災害時における物流機能の強化を図る。 ⑤港湾施設の長寿命化に向けた維持管理計画の策定を行う。 ⑥海岸保全施設の長寿命化に向けた維持管理計画の策定を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	9,366	A	9,323	B	0	C	43	D	0	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）	0.45	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	①-1 A2-002 臨港道路東扇島水江町線（直轄事業）の整備に伴う、現道の代替機能及び緊急物資等輸送機能を確保するため、臨港道路の改良工事実施率を高める。 ①-1 改良工事の実施率は、臨港道路の改良工事全体延長のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了延長／改良工事全体延長）×100	7%	60%	100%
2	①-2 A2-001、003、005～012 係留施設、外郭施設及び臨港交通施設における、施設の使用制限及び休止率0%の維持をする。 ①-2 休止率等は、係留施設、外郭施設及び臨港交通施設の全体施設数のうち、使用制限及び休止施設の割合 休止率等＝（使用制限及び休止施設数／全体施設数）×100	0%	0%	0%
3	② A2-004 大規模地震時において、市内陸部への緊急物資等輸送機能を確保するため、関連施設の改良工事実施率を高める。 ②改良工事の実施率は、緊急物資輸送路における必要対策箇所のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了箇所数／改良工事全体箇所数）×100	0%	100%	100%
4	③ A9-015 津波・高潮時において、被害を防止するため、海岸保全施設の改良工事実施率を高める。 ③改良工事の実施率は、必要対策施設数のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了箇所数／改良工事全体箇所数）×100	17%	60%	100%
5	④ A2-014 通常時及び災害時における物流機能の強化を図るため、岸壁の改良工事実施率を高める。 ④改良工事の実施率は、岸壁の改良工事全体延長のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了延長／改良工事全体延長）×100	0%	50%	100%
6	⑤ A2-013 港湾施設についての維持管理計画策定率を高める。 ⑤維持管理計画の策定率は、港湾施設のうち、維持管理計画を策定した割合 維持管理計画の策定率＝（策定施設数／全体施設数）×100	0%	100%	100%

[illegible]

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	海底トンネルの改良	延長L=2,180m 換気塔2カ所	川崎港 東扇島 地区	■	■	■	■		1,465		策定済
	A02-002	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	臨港道路の改良	延長L=4,090m 交差点改良 等	川崎港 東扇島 地区 川崎港 水江町地区	■	■	■	■	■	1,071		策定済
	A02-003	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	埠頭内道路の改良	延長L=5,633m	川崎港 千鳥町 地区	■	■	■	■	■	1,531		策定済
	A02-004	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	緊急物資等輸送路の改良	段差抑制 5箇所	川崎港 東扇島 地区・川崎港 千鳥町地区	■	■	■	■	■	140		—
	A02-005	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	物揚場改良（千鳥町ABC物 揚場）	腐食対策等	川崎港 千鳥町 地区					■	336		策定済
	A02-006	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	岸壁改良（東扇島3号～9 号）	延長L=1,702m 被覆防食、電 気防食、渡版	川崎港 東扇島 地区	■	■	■	■	■	250		策定済

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-007	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	岸壁改良（東扇島21号～30号）	延長L=1,300m 被覆防食、電気防食、渡版	川崎港 東扇島地区		■	■	■	■	499		策定済
	A02-008	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	護岸改良（東扇島護岸）	延長L=595m 被覆防食、電気防食	川崎港 東扇島地区		■	■	■	■	220		策定済
	A02-009	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	物揚場改良（千鳥町北西物揚場）	延長L=298m 電気防食	川崎港 千鳥町地区		■	■			49		策定済
	A02-010	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	物揚場改良（小島新田物揚場）	延長L=146m 電気防食	川崎港 小島町地区		■				31		策定済
	A02-011	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	川崎港港湾保安システムの維持補修	保安監視システム・機器の更新	川崎港 東扇島地区・川崎港千鳥町地区	■	■	■	■	■	463		—
	A02-012	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	建築物撤去	共同事務所等の撤去	川崎港 千鳥町地区	■	■	■	■		306		—

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	A02-013	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	維持管理	長寿命化計画策定	維持管理計画策定 東扇島：5.8施設 千鳥町1.5施設	川崎港 東扇島地区・川崎港千鳥町地区		■				14		—	
	A02-014	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	岸壁改良（東扇島KC3）	延長L=9.6m	川崎港 東扇島地区					■	2,000		—	
												小計						8,375		
											合計						8,375			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	C02-001	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	－	油流出防止施設の整備	荷さばき地からの油の流出を 防止するための施設の整備	川崎港 千鳥町 地区		■	■			43		－	
		港湾事業埠頭内道路の改良と一体的に整備することで千鳥町地区の主要貨物の一つである循環資源貨物（スクラップ）を適正にストックすることができ、もって円滑かつ適切な静脈物流を確保できる。 。																		
											小計							43		
											合計							43		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	344	292	288	276	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	344	292	288	276	
前年度からの繰越額 (d)	213	114	64	96	
支払済額 (e)	443	342	256	240	
翌年度繰越額 (f)	114	64	96	113	
うち未契約繰越額(g)	77	15	28	42	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	19	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	13.82	3.69	7.95	16.39	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	使用者との調整のため			地中障害物による施工中止 および入札不調のため	

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成29年03月17日

計画の名称	利用しやすく安全で憩いとうるおいのある港づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	川崎市												
計画の目標	川崎港における物流機能及び防災・減災機能の維持・強化を図るために、以下のことを実施する。 ①既存の係留施設、外郭施設及び臨港交通施設等の改良等を行い、施設の延命化、利用者の利便性及び安全性の向上を図る。 ②大規模地震時において、市内陸部への緊急物資等輸送機能を確保するために、関連施設の改良を行い、耐震性の向上を図る。 ③津波・高潮時において、市民の生命と財産を守るために、海岸保全施設の改良を行う。 ④東扇島地区の岸壁を改良し、通常時ならびに災害時における物流機能の強化を図る。 ⑤港湾施設の長寿命化に向けた維持管理計画の策定を行う。 ⑥海岸保全施設の長寿命化に向けた維持管理計画の策定を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	9,366	A	9,323	B	0	C	43	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0.45	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	①ー1 A2-002 臨港道路東扇島水江町線（直轄事業）の整備に伴う、現道の代替機能及び緊急物資等輸送機能を確保するため、臨港道路の改良工事実施率を高める。 ①ー1 改良工事の実施率は、臨港道路の改良工事全体延長のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了延長／改良工事全体延長）×100	7%	60%	100%
2	①ー2 A2-001、003、005～012 係留施設、外郭施設及び臨港交通施設における、施設の使用制限及び休止率0%の維持をする。 ①ー2 休止率等は、係留施設、外郭施設及び臨港交通施設の全体施設数のうち、使用制限及び休止施設の割合 休止率等＝（使用制限及び休止施設数／全体施設数）×100	0%	0%	0%
3	② A2-004 大規模地震時において、市内陸部への緊急物資等輸送機能を確保するため、関連施設の改良工事実施率を高める。 ②改良工事の実施率は、緊急物資輸送路における必要対策箇所のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了箇所数／改良工事全体箇所数）×100	0%	100%	100%
4	③ A9-015 津波・高潮時において、被害を防止するため、海岸保全施設の改良工事実施率を高める。 ③改良工事の実施率は、必要対策施設数のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了箇所数／改良工事全体箇所数）×100	17%	60%	100%
5	④ A2-014 通常時及び災害時における物流機能の強化を図るため、岸壁の改良工事実施率を高める。 ④改良工事の実施率は、岸壁の改良工事全体延長のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了延長／改良工事全体延長）×100	0%	50%	100%
6	⑤ A2-013 港湾施設についての維持管理計画策定率を高める。 ⑤維持管理計画の策定率は、港湾施設のうち、維持管理計画を策定した割合 維持管理計画の策定率＝（策定施設数／全体施設数）×100	0%	100%	100%

[illegible]

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—

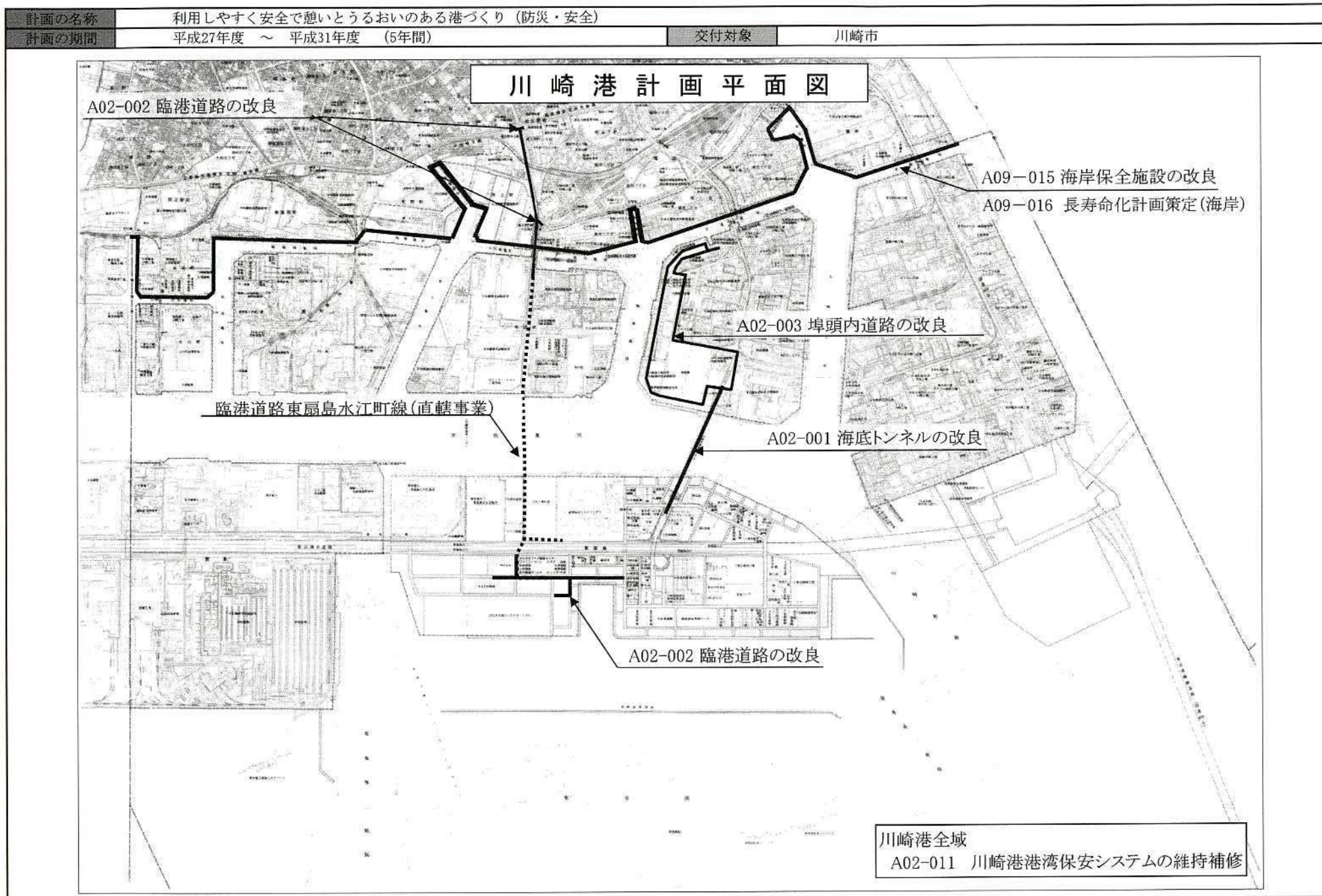
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-015	海岸	一般	川崎市	直接	川崎市	高潮	港湾	海岸保全施設の改良	陸開改良18施設 防潮堤の改良	川崎港	■	■	■	■	■	920		策定済	
	A09-016	海岸	一般	川崎市	直接	川崎市	老朽化	港湾	長寿命化計画策定	維持管理計画策定 5地区	川崎港		■	■	■		28		—	
												小計						948		
												合計						948		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

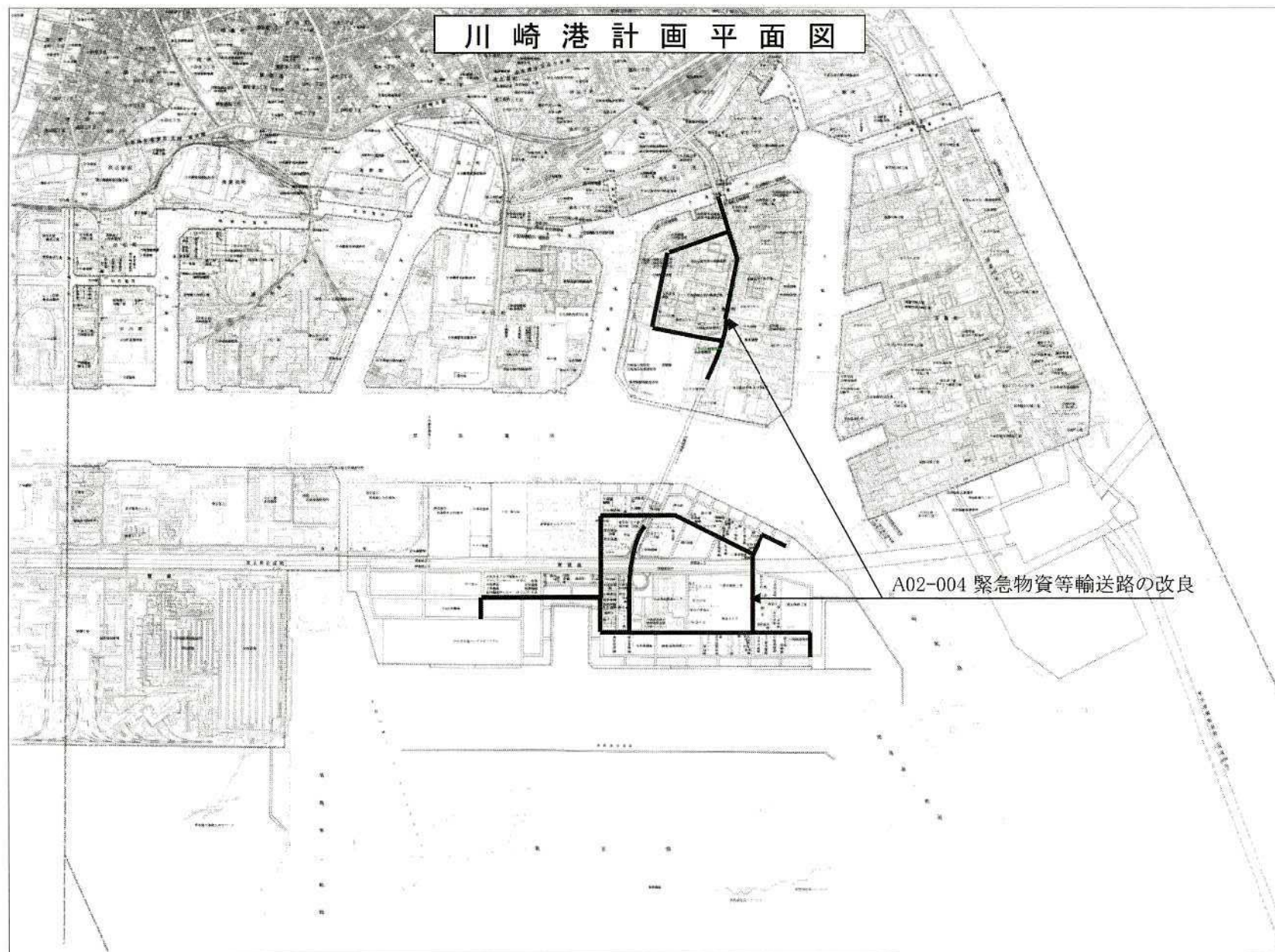
	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	344	292	288	276	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	344	292	288	276	
前年度からの繰越額 (d)	213	114	64	96	
支払済額 (e)	443	342	256	240	
翌年度繰越額 (f)	114	64	96	113	
うち未契約繰越額 (g)	77	15	28	42	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	19	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	13.82	3.69	7.95	16.39	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	使用者との調整のため			地中障害物による施工中止 および入札不調のため	

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

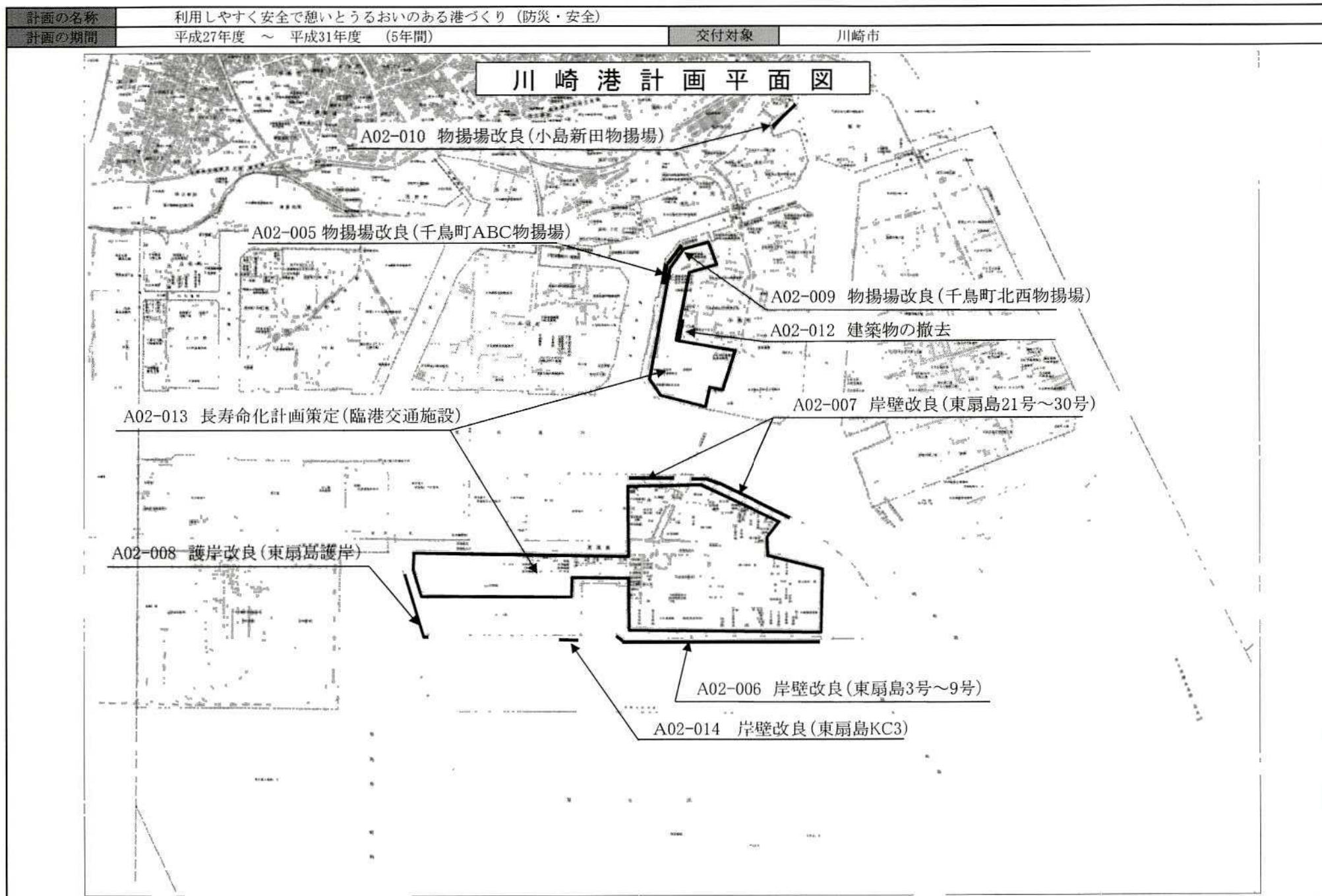


(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	利用しやすく安全で憩いとうるおいのある港づくり (防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	川崎市



(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 利用しやすく安全で憩いとうるおいのある港づくり(防災・安全)

事業主体名: 川崎市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
① 計画の目標が基本方針等と適合している。	○
② 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
③ 現状調査が適切に行われている。	○
④ 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
① 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
② 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
③ 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④ 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
⑤ 事業効果を高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
⑥ 長期的な計画の見通しがある。	○
III. 計画の実現可能性	
① 事業熟度が十分である。	○
② 健全な状態の施設利用が見込まれる。	○
③ 計画期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
④ 事業実施のための調整が図られている。	○